

公益社団法人日本地震工学会 第 43 回理事会議事録

A.日時： 2019 年 12 月 2 日（月） 16 時 00 分～19 時 00 分

B.場所： 建築会館 304 会議室

C.出席者：（会長）中埜良昭，（副会長）鳥井信吾，山田 哲，秋山充良

（担当理事）中村洋光，徳光亮一，山本雅史，入江さやか，久保智弘，永野正行，清田 隆，小檜山雅之，宮腰淳一

（監事） 三輪 滋

欠席：（担当理事）松岡太一，五十嵐晃，目黒公郎，丸山喜久 （監事）久田嘉章

オブザーバ出席：小松康典事務局長，戸田薫子事務局長

D.議題および提出資料：

報告事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 第 42 回理事会議事録（案）の確認（徳光理事） | 資料 43-01 |
| 2) 第 16 回正副会長会議報告（中村理事） | 資料 43-02 |
| 3) 会務報告（中村理事） | 資料 43-03 |
| 4) 会計報告（山本理事） | 資料 43-04 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事） | 資料 43-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事） | 資料 43-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（永野理事） | 資料 43-07 |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事） | 資料 43-08 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事） | 資料 43-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事） | 資料 43-10 |
| 11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長代理報告） | （資料なし） |
| 12) 第 8 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（中埜会長） | 資料 43-11 |
| 13) ESG 研究委員会関連報告：シンポジウム報告、ESG6 関連（秋山副会長） | 資料 43-12 |

議案

- | | |
|-----------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（徳光理事） | 資料 43-13 |
| 第 2 号 委員会委員の委嘱（中村理事） | 資料 43-14 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（徳光理事） | 資料 43-15 |

懇談事項

- | | |
|---|----------|
| 1) 功績賞、功労賞の候補者について（中埜会長・中村理事） | 資料 43-16 |
| 2) JAEE20 周年記念事業（秋山副会長） | 資料 43-17 |
| 3) 2019 年度活動報告，2020 年度活動計画・予算案の作成について（中村理事） | 資料 43-18 |
| 4) 次期理事会の体制について（中村理事） | 資料 43-19 |
| 5) 2020 年度大会（山田副会長） | 資料 43-20 |
| 6) 防災学術連携体からの講演依頼（山本理事） | 資料 43-21 |

E.議事録：

報告事項

- 1) 第 42 回理事会議事録（案）確認（徳光理事）
 - ・ 徳光理事より資料 43-01 に基づいて第 42 回理事会議事録（案）の説明が行われ、異議なく承認された。
- 2) 第 16 回正副会長会議報告（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料 43-02 に基づいて第 16 回正副会長会議について報告がなされた。
- 3) 会務報告（中村理事）
 - ・ 中村理事より資料 43-03 に基づいて会務報告の説明がなされた。
- 4) 会計報告（山本理事）
 - ・ 山本理事より資料 43-04 に基づいて会計報告の説明がなされ、異議なく承認された。
- 5) 広報部会からの報告（入江理事）
 - ・ 入江理事より資料 43-05 に基づいて広報部会の活動について説明がなされた。
 - ・ メディアより番組制作のため、地震工学会誌、地震工学会論文集に掲載された図を使用したいとの依頼を受けていることが報告され、原著者の協力を得てデータを提供することとした。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（久保理事）
 - ・ 久保理事より資料 43-06 に基づいて、JAEE News、JAEE Newsletter の発行状況、ウェブサイトのメンテナンス、ホームページのセキュリティ対策の進捗状況等について説明がなされた。
 - ・ 刊行物のアーカイブ化の進捗状況について説明がなされた。委員会で入手できていないシンポジウムの資料、研究委員会報告書、大会梗概集等が紹介され、各理事がこれらの刊行物を探し出すことに協力することが確認された。
- 7) 会誌編集委員会からの報告（永野理事）
 - ・ 永野理事より資料 43-07 に基づいて、会誌第 39 号、第 40 号に掲載予定の特集記事および作業の進捗状況について説明が行われた。
 - ・ 歴代会長へのインタビュー時の音声、写真データは、事務局で保管することとし、データの消失リスク回避のため、その他の関係者もできるだけデータを共有することとした。
- 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（清田理事）
 - ・ 清田理事より資料 43-08 に基づいて、地震災害対応委員会（地震被害調査関連学会連絡会）、における関連学会の担当者（連絡窓口を決定したことが報告された。また国際委員会より留学生会員に JAEE Newsletter への寄稿を依頼し、英文の原稿を提出していただいたことが紹介された。
- 9) 論文集編集委員会からの報告（小檜山理事）
 - ・ 小檜山理事より資料 43-09 に基づいて、論文賞の推薦に向けた作業、論文集の発行状況、査読状況、今後の発刊予定等について報告された。
 - ・ 先日制定および改定した論文集倫理規程および関連諸規程の英文化の進め方について議論され、作業を外注するために、信頼できる複数の業者に見積もりを取ることにした。
 - ・ 本会論文集に掲載された不正行為の疑いのあるノートの扱いについて議論され、今後の対応を以下のとおりとすることとした。
 - 論文集倫理規程に基づき、まず共著者に説明を求める文書を委員会名で送付する。
 - 共著者から論文取り下げの依頼があった場合は論文を取り下げる。ただし、ウェブ上から原論文を削除する・しない等については、今後検討する必要がある。
 - 共著者から論文取り下げの依頼がない場合は、本会より懸念を表明し、ウェブ上で原論文を閲覧する際にその旨が把握できるようにする。

10) 事業企画委員会（企画）からの報告（宮腰理事）

- ・ 宮腰理事より資料 43-10 に基づいて、10 月 19～20 日に開催された「ぼうさいこくたい 2019」での展示状況について報告された、また、E-ディフェンス見学会の計画、社員総会の特別講演会の講演候補者について紹介された。

11) 17WCEE 運営委員会からの報告（中埜会長代理報告）

- ・ 中埜会長より 17WCEE の準備状況について報告され、アブストラクトに対する採否判定の回答が完了したこと、オーガナイズドセッションに応募された案から採用するテーマを選定中であること等が報告された。

12) 第 8 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会の報告（中埜会長）

- ・ 中埜会長より資料 43-11 に基づいて、第 8 回日本地震学会・日本地震工学会会長懇談会について報告がなされた。

13) ESG 研究委員会関連報告：シンポジウム報告、ESG6 関連（秋山副会長）

- ・ 秋山副会長より資料 43-12-1 に基づいて、10 月 21 日に開催された「平成 28 年(2016 年)熊本地震と ESG 研究」シンポジウムの開催状況について報告された。
- ・ 資料 43-12-2 に基づき、「強震動評価のための深部地盤モデル化手法の最適化に関する研究委員会」においては、上記シンポジウムの特別セッションの概要を取りまとめることで成果報告書に替えることとし、地震工学会の会員向けに頒布できるようにすることが紹介され、承認された。

議案

第 1 号 入退会者（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 42-13 に基づいて、入退会者の報告がなされた。入会者として正会員 2 名、学生会員 3 名、法人会員 1 法人について異議なく承認された。また退会者として正会員 2 名について異議なく承認された。また復活者として正会員 1 名、学生会員から正会員への転格者 1 名について報告がなされた。

第 2 号 委員会委員の委嘱（中村理事）

- ・ 中村理事より資料 43-14 に基づいて、地震被害調査関連学会連絡会で新規に委員となる方の案が紹介され、承認された。
- ・ 地震被害調査関連学会連絡会の窓口として選任された委員は、地震工学会の会員であることから、他の委員会の名簿の形式と揃えるため、所属および任期を記載することとした。また、その他の委員の所属の記載のうち、「地震工学会」を削除することとした。

第 3 号 共催・後援・協賛等（徳光理事）

- ・ 徳光理事より資料 43-15 に基づいて、後援 3 件、協賛 1 件の名義使用依頼が報告され、異議なく承認された。

懇談事項

1) 功績賞、功労賞の候補者について（中埜会長・中村理事）

- ・ 中村理事より資料 43-16 に基づいて、功績賞および功労賞の候補者の選考委員および選考スケジュールについて説明された。
- ・ 候補者の選定および推薦書の作成を 1 月末までに完了する必要があることが確認された。これに先立ち、12 月末～1 月初旬をめどに、功績賞および功労賞の候補者について、各理事が総務理事および事務局に連絡することとした。

2) JAEE20 周年記念事業（秋山副会長・宮腰理事）

- ・ 秋山副会長、宮腰理事より資料 43-17 に基づいて、JAEE20 周年記念式典に向けたスケジュール、収支見直しおよび記念誌の目次案について説明された。
 - ・ 建築会館の大ホールは来年 4 月以降でなければ予約することができないことから、記念式典については、建築会館以外で候補となる会場についても調査し、社員総会と同時開催の可能性も考慮しながら、使用可能な日時、キャンセル料が発生する時期を確認することとした。
- 3) 2019 年度活動報告、2020 年度活動計画・予算案の作成について（中村理事）
- ・ 中村理事より資料 43-18 に基づいて、2019 年度活動報告、2020 年度活動計画・予算案の作成スケジュールについて説明がなされた。
 - ・ 予算原案の作成においては、金額の精度向上に努めるように、書類作成依頼時に周知することとした。
- 4) 次期理事会の体制について（中村理事）
- ・ 中村理事より資料 43-19 に基づいて、次期理事会における理事の選考について説明がなされた。
 - ・ 今年度で退任する理事は、後任の理事を推薦できるように準備するように依頼があった。ただし、総務理事については会長が候補者を選考し、副会長の選考については会長と現副会長で協議することとした。
- 5) 2020 年度大会について（山田副会長）
- ・ 山田副会長より資料 43-20 に基づいて、学会の年会費、大会参加費の観点から、学生が本学会に入会する（大会に投稿する）動機づけの方法について紹介された。
 - ・ 本学会の会費および大会登録費を他学会と比較した結果、学生が地震工学会に入会するための動機づけとして、会費の引き下げは必ずしも有効ではないことが説明された。また、学生の入会を促進する方法として、褒賞を増やす、大会原稿のページ数を減らす、大会論文を査読付き論文として扱うこと等が挙げられた。
- 6) 防災学術連携体からの講演依頼について（山本理事）
- ・ 山本理事より資料 43-21 に基づいて、防災学術連携体からの「第 9 回防災学術連携シンポジウム 低頻度巨大災害を考える」における講演依頼について説明がなされ、対応について協議した。
 - ・ 「津波等の突発大震害からの避難における諸課題に対する工学的検討手法およびその活用に関する研究委員会」の甲斐委員長に講演を依頼してみることにした。また、上記研究会の講演内容と土木学会からの講演内容が重複する可能性がないか確認することとした（→後日、重複しないことを確認）。

次回予定：第 44 回理事会 3 月 24 日（火）16 時～19 時
 （正副会長会議 3 月 3 日（火）16 時～19 時）

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和元年 12 月 17 日

議長 中 埜 良 昭

監事 久 田 嘉 章

監事 三 輪 滋